

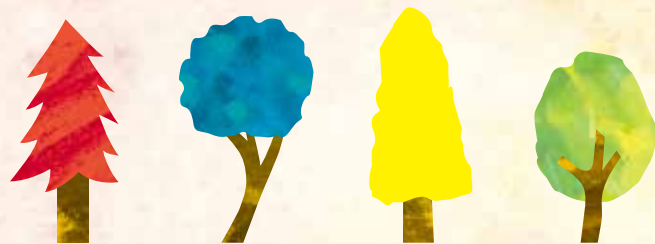
年報 こころの樹

事業報告 平成29年度(2017年度)


tv asahi welfare foundation

テレビ朝日福祉文化事業団

検索



社会福祉法人 テレビ朝日 福祉文化事業団

はじめに

テレビ朝日福祉文化事業団は、おかげさまで多くの皆さまからご理解、ご協力をいただき、平成29年(2017年)8月4日をもちまして創立40周年を迎えることができました。

昭和52年(1977年)にテレビ朝日が母体となって、民間放送局でははじめての社会福祉法人として設立され、「児童福祉」「母子福祉」「障がい者福祉」「高齢者福祉」など、時代の要請に対応しながら社会福祉事業に取り組んできました。これまでさまざまな形でご支援してくださった皆さまに、厚く感謝を申し上げます。

当事業団では、平成29年4月1日から1年間を「創立40周年期間」とし、記念事業を実施してまいりました。

その一つとして、障がい児入所施設から要望が多かった組み立てが簡単な「かんたんテント」を40周年記念品として35施設に贈呈し、運動会やバザーなどの行事に活用していただいています。

10月21日(土)、22日(日)には、「共生 ～隔たりのない世界へ～」をメインテーマに事業団が行っている福祉事業を集約した2日間のイベント「LIVE TOGETHER! 普通にやろう! 一緒にやろう!」を開催いたしました。当日はあいにくの雨となりましたが、多数の方にご来場いただき、障がいのある方もない方も共に楽しむことができるイベントとなりました。

また11月19日(日)には、児童福祉事業の「第6回 子どもキラット! 楽演祭」を40周年記念として開催いたしました。スペシャルゲストとして、世界で一番有名な日本人エンターテナー「ピコ太郎」さんにサプライズ登場していただくことができ、子どもたちも大喜びのイベントとなりました。

テレビ朝日福祉文化事業団は、創立40周年を契機として、気持ちを新たに「共生～隔たりのない世界～」を願って、皆さまとともに「こころ」を一つにして、テレビ局の特性を生かしながら、さまざまな社会福祉事業を推進してまいります。

今後とも皆さまの温かいご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団

社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団は、昭和52年(1977年) N E T からテレビ朝日への社名変更を機に、より幅広い社会福祉活動を目指して設立されました。昭和26年(1951年)制定の社会福祉事業法[平成12年(2000年)社会福祉法に法名改正]に基づき、社会福祉の増進を図ることを目的として、第二種社会福祉事業を行う社会福祉法人として申請・認可されたものです。

Contents

● 40 周年記念事業

創立 40 周年記念
「LIVE TOGETHER! 普通にやろう! 一緒にやろう!」 2 ～ 5

創立 40 周年記念品「かんたんテント」プレゼント 6

創立 40 周年記念 「第 6 回 子どもキラット! 楽演祭」 7 ～ 9

● 児童福祉 10 ～ 17

● 母子福祉 18 ～ 19

● 障がい者福祉 20 ～ 23

● 高齢者福祉 24 ～ 25

● 地域公益活動 26 ～ 27

● 平成 29 年度事業一覧 28

● 平成 29 年度会計報告 29 ～ 30

● その他 31 ～ 33

略語解説

(福) 社会福祉法人
(特非) --- 特定非営利活動法人
(公社) 公益社団法人

(一社) 一般社団法人
(公財) 公益財団法人
(一財) 一般財団法人

(社) 社団法人
(財) 財団法人
(株) 株式会社

40周年記念事業

● 創立40周年記念 「LIVE TOGETHER! 普通にやろう！一緒にやろう！」

テレビ朝日福祉文化事業団は創立40周年の記念事業として、「共生～隔たりのない世界へ～」をメインテーマに、事業団が行っている福祉事業を集約した2日間のイベント、創立40周年記念「LIVE TOGETHER！普通にやろう！一緒にやろう！」（主催：テレビ朝日福祉文化事業団 後援：（株）テレビ朝日ほか）を10月21日（土）、22日（日）品川区立総合区民会館「きゅりあん」8階大ホールで開催しました。台風の影響で両日ともあいにくの雨となりましたが、2日間で1,700人の方にご来場いただきました。



車いすバスケットボールのデモンストレーション



武蔵野東中学校の生徒たちによる演奏とダンス



シンポジウム

1日目

1日目は吉田慎一理事長の開会宣言で開始。まずは第1部として、シンポジウムを開催しました。歌手の大島花子さんほか、メインテーマの「共生」を実践し、障がいのある人ない人が一緒にダンス、音楽、スポーツを楽しむことに取り組んでいる方々にお話を伺いました。第2部はパフォーマンス。障がい児と健常児と一緒に学校生活を送る「混合教育」のさががけといわれる武蔵野東中学校の生徒たちの演奏とダンス、車いすバスケットボールの現役選手によるスピード感あふれるデモンストレーション、振付家の香瑠鼓さんが主宰する障がいのある人たちと一緒に表現するパフォーマンス集団「Api-Lucky」のダンスパフォーマンスを披露。香瑠鼓さんの呼びかけで、出演者全員や児童養護施設の子どもたちが舞台に集合し、会場のお客様と一体になって歌い踊り大盛り上がりでした。

日 程：平成29年10月21日（土）・22日（日）

場 所：品川区立総合区民会館「きゅりあん」8階大ホール

主 催：テレビ朝日福祉文化事業団

共 催：東京六本木ライオンズクラブ
（22日のみ）東京原宿ライオンズクラブ

後 援：品川区・（福）東京都社会福祉協議会
（福）品川区社会福祉協議会・（株）テレビ朝日



Api-Luckyのパフォーマンス

休憩の後は第3部。30周年を迎えた高齢者施設訪問の特別編として、施設訪問にご協力いただいている6組の歌手の方たちによるスペシャル歌謡ショーを行いました。民謡歌手の原田直之さんの「新相馬節」を皮切りに、大島花子さん、佳山明生さん、園まりさん、こまどり姉妹のお二人と続き、懐かしいヒット曲や名曲

の数々を笑いあり涙ありの話をまじえて披露。大津美子さんが登場し、「ここに幸あり」を歌い上げると会場から大きな拍手が湧き起こりました。最後に出演者全員がステージに再登場すると豪華絢爛！会場のお客様と一緒に全員で「上を向いて歩こう」を大合唱し、1時間半の歌謡ショーが終了しました。



こまどり姉妹



大津美子さん



スペシャル歌謡ショーの出演者の皆さん

🎤 ご来場の皆さまの声（抜粋）

- ★シンポジウムのパネリストの方々が、障がい者の方を特別視することなく、健常者の方と普通に生活する環境づくりに尽力されている姿勢に感動しました。
- ★ゲストの皆さまの元気に励まされました。陰ながら応援します。
- ★車いすバスケの三宅選手の情熱にあふれたお話、熱い想いが伝わりました。
- ★香瑠鼓さんで指導のダンスが素晴らしかったです。
- ★皆さん楽しそうに踊っており個性を生かしてのびのびやっていた良かったです。
- ★園まりさんのかわいらしい美貌が昔と全然かわらない。
- ★こまどり姉妹さんの漫才のように面白すぎるトーク最高です！
- ★懐かしい方々の歌を聞けて良かったです。
- ★全プログラムすべて良かったです。

2日目

2日目は「LIVE TOGETHER! CONCERT」。第1部は視覚や聴覚に障がいのある人たちにも音楽を楽しんでもらう「五感で楽しむコンサート」。シエナ・ウインド・オーケストラの打楽器奏者、荻原松美さんのパーカッション・グループ“ブルームーン”による演奏と映像との共演、客席に下りた演奏者が一人ずつ音を出してホールを広さを体感する音のリレー、音量を視覚化したアプリを使用した筑波大学附属聴覚特別支援学校の子どもたちによる打楽器演奏などを行い、演奏者と会場の皆様と一緒に音楽を体感する一大舞台となりました。



川島成道

視覚障がいを負った幼少期にヴァイオリンと出会い、音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学。1997年、同院を同院史上2人目となるスペシャル・アーティスト・ステータスの称号を授与され首席卒業。CDは1st、2ndアルバムがそれぞれ20万枚の記録的大ヒットとなって以来14枚をリリース。英国と日本を拠点にソリストとして精力的な活動を展開し、毎年数多くのリサイタルと国内外の主要オーケストラとの共演を行っている。



智内威雄

東京音楽大学在籍中よりミラノにて研鑽を積み、2000年、ドイツ・ハノーファー音楽大学に入学し、国際コンクールで入賞する。2001年に局所性ジストニアが右手に発症。大学を休学し、ベルリンにてロラン・プレー氏の元でリハビリを開始。2003年、左手のピアニストとして音楽活動を再開。2010年から「左手のアーカイブ」プロジェクトを発足し、左手演奏用の初級・中級の楽譜を監修。



Ajarria 片岡亮太&山村優子

静岡県三島市出身。11歳の時に盲学校の授業で和太鼓と出会う。2007年、上智大学文学部社会福祉学科首席卒業、社会福祉士の資格取得。プロ奏者としての活動を開始。和太鼓、ジャンベ、ホーミー、歌などを組み合わせた独自のソロパフォーマンスを中心にコンサートやイベント等に出演。2011年、在米中にジャズホルン奏者で作曲家の山村優子と出会い、デュオ「Ajarria」を結成。

ロビーでは2日間を通じて、車いすバスケットボールや障がい者スキー（チェアスキー）などの展示体験コーナーを設けました。ゲーム機を使ったチェアスキーのシミュレーションは来場した子どもたちに人気でしたが、85歳のお年寄りにも元気にトライしていただきました。

テレビ朝日福祉文化事業団40年のあゆみを年表にしたパネルも展示し、来場者にご覧いただきました。

2日間を通して、あいにくの雨にもかかわらず多数の方にご来場いただき、メインテーマの「共生」が感じられるイベントとなりました。出演者の方々をはじめ、共催の東京六本木ライオンズクラブ、東京原宿ライオンズクラブの皆さま、ご賛同くださいました協賛各社、ご協力いただきました東京藝術大学ほか関係各位、そして、ご来場の皆さまに、心よりお礼を申し上げます。



五感で楽しむコンサート



会場内でも盲導犬と共に

ゲーム機を使ったチェアスキーのシミュレーション

メインテーマの「共生」を感じられる展示物が並んだロビー

ご来場の皆さまの声（抜粋）

- ★今まで聞いたことのない打楽器、左手のピアノなど、興味深く聞きました。
- ★耳の聴こえにくい人の為に色々な機械があるのだと初めて知った。
- ★パーカッションは音を体感できて新たな発見でした。
- ★素晴らしい試みだと感激しました。「ハンディキャップがあっても音楽を楽しむ人生を過ごすことができる」と感じてもらえたらいいと思います。
- ★皆さんの精進された演奏にとっても感動と力をいただきました。

- ★ホルンが和楽器に合うとは！ホルンすばらしい音色でした。
- ★川島さんのヴァイオリンはとても優しい音でびっくりしました。
- ★すばらしい演奏の数々。心より感動でいっぱいです。
- ★視覚や聴覚に障がいを持つ方や幅広い年齢層の皆さんが足を運び、奏でられた音楽を純粋に楽しむことができる温かい空間だったと思います。
- ★とてもあたたかくてすてきなコンサートでした。

● 創立40周年記念品 「かんたんテント」プレゼント

テレビ朝日福祉文化事業団は、バザーや運動会などの際に使用する組み立てが簡単な「かんたんテント」を、創立40周年記念品として贈呈しました。

対象施設は障がい児入所施設で、書類審査のうえ35施設にテントを贈呈しました。各施設の皆さまからは、感謝のお言葉を頂戴しております。バザー、運動会、お祭り、防災訓練等のイベントの日除けとして、幅広くご活用いただければと思っております。

寄贈日：平成29年10月

対象：東京・神奈川・埼玉・千葉・群馬・茨城・栃木の障がい児入所施設 35施設



お祭りなどの催事に最適



運動会などの日除けテント



レクリエーションにも充分な広さ



テントの下でアイスクリームを作り子どもたちも大喜び

🎤 寄贈施設からの感想(抜粋)

★私どもの施設で使用するのに丁度良い大きさであり、組み立ても簡単にできるテントで、たいへん重宝すると思われ、うれしく思います。

★かんたんテントの名の通り、たっぷりとした広さがありながら設置にはそれほどの労力を必要とせず、これなら手軽に利用できそうです。元気な子どもたちは屋外で遊ぶのが大好きです。夏休みにはビニール製のプールを園庭に出して、みんなで水遊びを楽しみます。秋には地域の方々を招いて収穫祭を行います。テントはこのような時に日除けや雨除けとして利用したいと思います。

★保護者会主催のお祭りを開催いたしましたが、たいへん軽量で、かつ組み立てるのも簡易で、お手伝いにあたってくださった保護者様やボランティアの皆さんにも大好評でした。今後も様々な行事において、繰り返し、大切に使用させていただきたいと存じます。

★園庭での野外食事会やレクリエーションで沢山、沢山利用したいと考えています。子ども達の笑顔がさらに増える余暇活動を考えてまいります。

● 創立40周年記念 「第6回 子どもキラット! 楽演祭」

テレビ朝日福祉文化事業団創立40周年記念事業、最後を飾るビッグイベント「第6回 子どもキラット! 楽演祭」を、11月19日(日)虎ノ門のニッショーホールで開催しました。当日の気温はやや低めでしたが、さわやかな秋晴れに恵まれ、東京・神奈川・埼玉の児童養護施設から過去最多の14施設、のべ300人が出演し、16演目を競演しました。見学者を含む約500人が3時間半の発表を楽しみました。

このイベントは、児童養護施設の子どもの発表の場を作ってほしいとの要望を受け、当事業団が立ち上げた児童福祉事業の一つで、子どもたちの歌やダンスなど日々の練習と成果の発表を通して健やかで豊かな個性を育むことを願って、毎年開催しています。音響・照明・進行やゲスト出演者など、テレビ局らしい特色

を生かした大きなステージでの発表は、子どもたちの励みになると好評をいただいています。今年は創立40周年を記念し、世界中に楽しいダンスと笑顔を伝え、世界で一番有名な日本人エンターテナー「ピコ太郎」さんをゲストに迎えることができました。

開場は午前9時半。10時から子どもたちは次々にリハーサルを行いました。司会はテレビ朝日の本間智恵アナウンサーと、「高校生の海外生活体験の旅2017」に参加した児童養護施設の高校2年生の男子。二人とも初めての「子どもキラット! 楽演祭」にもかかわらず、息の合った見事な司会ぶりを見せてくれました。

明るく和やかなムードで開演。バンド演奏、キッズゴスペル、ダンス、合唱、和太鼓、トーンチャイム、創作舞踊、合唱、創作ダンス、日本舞踊の順でバリエー



小さい子どもダンスを頑張りました



美しい音色のトーンチャイム



創作舞踊「色のハーモニー」



迫力ある和太鼓の演奏



初参加の城山学園がダンスを披露

ション豊かな発表が続きます。今年は神奈川県湯河原から城山学園が初参加し、6曲メドレーでリズムにのったダンスを披露しました。迫力ある和太鼓や、やさしいトーンチャイムの音色、メイクアップも愛らしい子どもたちが色とりどりの布を手に踊る創作舞踊などいずれの演目も見ごたえのあるものでした。スクリーンを駆使し、演出に工夫を凝らしたカルテット（埼玉県）の創作ダンスは、卒園生のBANRIさんの見事なブレイクダンスも挿入され、完成度が高い仕上がりでした。

艶やかな日本舞踊の発表を終えると、いよいよスペシャルゲストが登場!!

金色の蛇柄の衣装に豹模様のスカーフをまとい、派手な踊りでPPAP（ペン パイナポー アッポーペン）を歌う実物のピコ太郎さんの姿に、子どもたちは大興奮!! 身振り手振りも交えながら「I have a pen. I have an



ピコ太郎さんの登場に会場大興奮!



握手をしようと子どもたちが集まりました



憧れの卒園生が見事なブレイクダンスを披露



民舞の「はねこ」を披露する施設も

apple. Apple pen!』と大合唱になりました。そして、舞台から降りて子どもたちのそばへ! PPAPロングバージョンを歌いながら、握手やハイタッチしながら客席をまわるピコ太郎さんに、子どもたちは大喜び。会場全体に笑顔と幸せがあふれました。子どもたちを連れて舞台に戻ったピコ太郎さんは、司会の高校生に「司会は明るくネ!」と肩を抱いて励ますなど楽しいお喋りも披露し、やさしさと元気をいっぱいもらった素敵な時間になりました。

ピコ太郎さんから「夢」についてのメッセージ

自分で目標とか夢を決めるじゃないですか。頑張っていくと、夢叶わないかな、達成できないかな、と思うことたくさんあるんですが、たまに自分が思ってる夢も超えちゃうことがあるんですね。それくらいの時があるんで、たくさん楽しいこととか夢とかを持つと、人生楽しいですよ。



第2部では、ハンドベル演奏、ヒップホップダンス、民舞、ストリートダンス、合唱などを発表しました。ダンス人気の昨今、ダンスの発表は年々増え、後半の演目の大半がダンス。どの施設も目をみはるほどレベルが向上しています。一方、昨年和太鼓で初参加した聖母愛児園は、今年は華やかな「はねこ」踊りも披露。日本古来の文化に小さい時からふれる大切さも実感するものでした。また、ハンドベルや合唱も一年間、一生懸命練習した成果が見えました。子どもたちには、自身の好きなことを見つけて生きる喜びにつなげてほしいと思います。

日 程 : 平成29年11月19日(日)

場 所 : ニッショーホール(東京都港区)

主 催 : テレビ朝日福祉文化事業団

共 催 : (福)東京都社会福祉協議会児童部会

後 援 : (公財)原田積善会・(株)テレビ朝日



本番を終えて、みんな笑顔で記念撮影

参加施設へのアンケートから抜粋

- ★初めて参加しましたが、本物のアナウンサー、芸能人に子どもたちは大喜びでした。舞台、照明もとても立派で練習の成果を発表するには豪華すぎるくらいでした。このような経験はめったに出来ることではないので子どもにとって貴重な体験になりました。
- ★とてもビッグなゲストに驚きました。子どもたちのためにありがとうございました。子どもたちもとても喜んでいました。大人たちももちろん喜んでいましたし、「ピコ太郎さんの最後のメッセージがとてもよかったね」と話していました。
- ★大規模の会場での開催に子どもたち一同、気合いを入れて参加し、楽しんで過ごすことができました。初めて舞台上がる子は緊張しつつも、施設の子の権利などが保障され職員も安心して参加できる場が外にあり、継続して開催されていることが次の目標になっています。
- ★毎年4月から練習を積み重ねたものを発表できる場として楽しみにしています。大きなステージで発表できることが良い経験になるのはもちろんですが、他施設の発表を見てよい刺激になっています。
- ★ゲストは素晴らしい方でした。話しの内容も子どもたちが真剣に聞いていて、帰宅後「夢」の話になりました。笑いだけではなく、子どもたちに語ってくれたことが、本当に良い宝物になりました。普段では立てないような大舞台上に子どもを立たせることができ、本当に良い経験となっています。
- ★今回5回目の参加をさせていただきました。このような大きなステージで子どもたちが演奏できる機会は他にないので、機会を与えていただけることに感謝しています。
- ★施設の児童支援や集大成の場と感じているので自分の学びになる。出演した子どもたちの表情が始まる前と終わった後で違い、達成感と自信に満ちた表情になっている。子どもの自信にもなり、職員は子どものいつもと違った一面が見られる場になっている。
- ★大きな舞台上で踊らせて頂けることはなかなかないので、とても貴重な経験で、子どもたちにとっても満足感や自信につながっていると感じています。他の施設のお子様たちの舞台も拝見させていただき、子どもたちにとっても私たちにとっても貴重な時間でした。

児童福祉

●第17回 児童養護施設で生活する 高校生の海外生活体験の旅

児童養護施設で暮らす高校生が海外生活を体験するプログラムは、平成10年（1998年）に始まった児童福祉事業の夏の恒例イベントです。参加者たちは海外生活の中で、日本では味わえない貴重な体験を重ねます。さらにホームステイという形でホストファミリーとコミュニケーションをとりながら英会話力を高めます。高校生たちの表情は成田空港を出発する時と帰国した時ではまったく違います。

今回は書類選考・面接を実施した結果、男子3名、女子7名の計10名が審査を通過しアメリカに向かいました。滞在したのはワシントン州シアトル。海と湖

に囲まれた美しい都市で「エメラルドシティ」とも呼ばれています。急成長しているアマゾン、マイクロソフトなどIT産業の拠点でもあり、現在全米で最も地価が上がっている都市だそうです。政情不安、テロなどで心配の多い昨今の海外渡航ですが、今年も外国人旅行者の受け入れ態勢が整った治安の良いシアトルが選ばれました。（シアトルでは8回目の実施）

緊張した面持ちの10人は成田を飛び立ち、16時間の時差があるシアトルに到着。参加者のほとんどが初めての海外でテンションは上がりっぱなし。好奇心が約9時間のフライトの疲れを上回りました。到着した日の夕方、10人の高校生たちは最も気にしていたそれぞれのホームステイ先の家族とご対面。受け入れてくれるホストファミリー側は、毎年のようにお世話になっている家族や日系ファミリーもいらっしゃいました。

初めてのホストファミリー宅での一夜を過ごし、翌朝は英会話などでお世話になる教会に集合。さまざまな初体験（食事、風呂、習慣の違いなど）を語り合い、情報共有をしていました。その日の午前中は、パイクプレイスマーケット（観光名所の市場）で食料運搬のボ



ホストファミリーを招いたさよならパーティー



マウントレニアでトレッキング

ランティア活動。夕方からは最初の英語の授業がありました。翌日は英語の授業後、ボーイング社の広大な飛行機工場の見学、シアトルマリナーズvsニューヨークメッツの大リーグ野球観戦と、盛りだくさんの一日でした。土日は、それぞれのホストファミリー宅で終日お世話になりました。翌日は早朝から約3時間のドライブでマウントレニア（標高4,392m）山麓をめざし、トレッキングを楽しみました。

最終日の英語の授業を終え、歴史あるワシントン大学も訪れました。夕方、参加者10名は浴衣と甚平に着替え、ホストファミリーを招いて「さよならパーティー」を開催。日本の文化を英語で伝えとともに、ホストファミリーにお世話になった感謝の気持ちを伝えました。感極まって涙する高校生たちを、ホストファミリーたちが温かくハグしていました。



ワシントン大学を視察し大学生とも交流

帰国する日、いろいろな思いがこみ上げ高校生たちの口数が少なく感じましたが、「もっとシアトルにいたい」という声が多く聞かれました。最初はみんな遠慮がちでしたが、内容の濃い1週間をともに過ごし、最後はすっかり仲良くなっていました。相手のことを思いやれる、チームワークの良い10名でした。



初体験の異国の地で何を思う…

ホームステイという形ではじめての海外生活を経験した高校生たち。後押ししてくれた関係者に感謝しながら、この旅で知り合った人々の思いやりや優しさを忘れずにいて欲しいと思います。そして、この体験が今後の人生に役立つ、ひとつのきっかけになることを祈っています。

日 程：平成29年7月26日(水)～8月3日(木)（7泊9日）

場 所：アメリカ ワシントン州シアトル市

参加者：高校生10人(男子3人、女子7人)
東京・千葉・茨城の児童養護施設

主 催：テレビ朝日福祉文化事業団

共 催：(福)東京都社会福祉協議会児童部会

後 援：(公財)原田積善会

参加高校生の感想文(抜粋)

☆Yさん16歳

英語が通じなかったらどうしよう、ホストファミリーと仲良くやれるかななどの不安は、現地に着いたとたんに吹き飛んでしまいました。高校生には、有り余るぐらいの良い経験ができました。

☆Tさん18歳

私のホストファミリーは70歳を超えたお父さんとお母さんでした。ふたりはとても優しく英語を教えてくださいました。外で食事をした時に、ひとりで注文できたのが嬉しかったです。特に嬉しかったことは、お二人が私の将来について親身になってアドバイスをしてくれたことです。

☆Mくん17歳

英語の先生はとても優しく、わかりやすい授業をしてくださいました。ホームステイ先で楽しかったのはビリヤードやダーツを家族でやったこと、そして美味しい家庭料理をごちそうになったことです。

☆Oくん16歳

外国人に積極的に英語で話しかけて、自分の英会話力が通用するかどうかを知ることができました。ホームステイ先では部屋に閉じこもりがちになり反省しています。最後はとても仲良くなった参加者10人ですが、みんながそれぞれにづらいことを抱えながら頑張っていることを知りました。

☆Hさん16歳

ホームステイ先では完璧な英語でなくても伝わること、一生懸命に伝えようとする姿勢が大切だと思いました。言葉があまり通じなくても、一緒に大リーグ観戦をしたり、いろいろな場所に行ったりするだけでも楽しい日々を過ごせました。

☆Mさん17歳

ホストファミリーのお母さんは目が不自由でした。私は初めて障がいのある方と一緒に過ごし、家の中にある段差などの危険性を知りました。私の夢はインテリアコーディネーターになることですが、健常者だけでなく障がいのある方々も暮らしやすい家を目指すコーディネーターになりたいと思いました。

☆Sさん17歳

はじめは不安ばかりでしたが、無事に終えた今は学ぶことが多くて行ってよかった、また行きたいと思いました。英会話は英語ができる、できないではなく、伝えようとするのが大事だと感じました。本当に、このような素晴らしい体験ができて良かったと心の底から思いました。

☆Mさん17歳

一番の思い出は「さよならパーティー」です。お世話になったホストファミリーの方々を招き、日本の伝統文化を英語で説明するのは緊張しました。ダンスや歌を披露して皆さんに喜んでもらい、最後には感謝の気持ちを英語で伝えました。

☆Tさん16歳

外国人と話すチャンスを大切に、積極的に英語で話すことが大事だと思いました。ただただしくても何とか話せばいつかは通じるので、あきらめないことが大事だと理解しました。

☆Sくん16歳

すべてが「初」の旅でした。(海外、ホームステイ、飛行機など)今回の旅を通して世界のスケールの大きさや文化、言語の違いを痛感しました。国境、人種などの壁がある以前に、私たちは同じ人間です。笑いや涙と一緒に経験し共感することで、人と人のつながりが成り立っていることに改めて気付かされました。

●第5回 農村ホームステイ 体験の旅 in遠野



ホストファミリーの農家で貴重な農作業体験



盛り上がったサヨナラパーティー

今年も児童養護施設で生活する小学校高学年と中学生を対象に、積極性・社会性・協調性などを養い、視野を広げる一助として、今年で第5回目となる「農村ホームステイ体験の旅」を実施しました。農村で様々な体験をしてみたいと応募してきた児童の中から、小学校5年生1人、中学生6人の7人を書類・作文審査に加え、面接を実施して選考しました。7月16日の事前説明会を経て、8月18日～8月22日、4泊5日の日程で、普段児童養護施設で集団生活をしている子どもたちを岩手県遠野市で農業を営む7軒の農家（ホストファミリー）に一人ずつ預かっていただき、ホームステイをしながら、野菜作りや収穫、牛や馬の飼育などの農業を実際に体験してもらいました。



家畜の世話も初体験

初日、東京駅に集合した児童たちは、ホームで引率の各施設職員に見送られて、東北新幹線で新花巻駅に向け出発しました。中には、新幹線に乗るのが初めてという子もいて一様に緊張した様子でしたが、新幹線の中で駅弁を広げたり、隣の子とおしゃべりをするうちに、すっかり打ちとけた雰囲気になって、笑顔も見られるようになりました。

新花巻駅からは観光バスで遠野市に向かいました。地元のガイドさんに、昔の豪農の家のある「伝承園」やカッパ伝説の「カッパ淵」などを案内してもらいました。



カッパ釣りに挑戦しましたが、残念ながらカッパには出会えず…

好物のきゅうりをエサにして、カッパ釣りに全員で挑戦しました。

当日の夕方、いよいよホストファミリーとの対面式。バスの

中では、元気におしゃべりしていた児童たちも、このときは緊張した面持ちで、お世話になるホストファミリーに一人ずつしっ



田んぼでの農作業も初体験

かり自己紹介の挨拶をしました。その後、お世話になるホストファミリーと一緒に車で宿泊先となる家に向かいました。

2日目、3日目は、朝から雨が降ってしまい農作業ができない児童もいましたが、預かってくださったホストファミリーと、収穫した野菜の仕分けと袋詰め作業などの貴重な体験ができました。また、収穫した椎茸や近くの川で釣ってきたヤマメやイワナをいただき、「椎茸がほんとうにおいしい」と言って野菜嫌いを克服した子もいました。生活環境が変わって夜眠れない子もいましたが、ホストファミリーに慣れてくると、一緒に料理などのお手伝いを積極的にしていました。アイガモ農法で田んぼに出るアイガモにホストファミリーと一緒にエサやり作業をした子、畑を機械で耕して種まきをした子、立ったり座ったりできつい加工トマトの収穫作業を最後まで頑張った子もいました。

4日目は東日本大震災の被災地、大槌町を訪ねました。児童たちは、午前中に遠野をバスで出発して、津波で大きな被害を受けた大槌町役場を訪問。その後、高台にある「命の炎」や沿岸部の「ひょうたん島」も視察し、津波の恐ろしさを痛感しました。吉里吉里国では自分たちで作ったピザを窯で焼いて食べたり、まき割りボランティアなどの貴重な体験をしました。

夕方遠野に戻り、サヨナラパーティーを行いました。ホストファミリーと一緒に、野菜ゲームや○×ゲームなどをして楽しいひと時を過ごしました。最後に児童たちに一人ずつ、遠野でのホームステイの感想とファミリーへのお礼などを綴った「感謝の手紙」を壇上で発表して

後の夜となりました。

最終日、東京へと戻る児童たちが、ホストファミリーから頂いた野菜など、お土産の入った大きな荷物を持って、それぞれのホストファミリーと一緒に遠野駅に集まってきました。お別れの挨拶をして子どもたちは名残惜しそうに電車に乗り込み、駅のホームから手を振るホストファミリーの皆さんに見送られ、遠野を後にしました。

遠野でお世話になったホストファミリーの皆さんが、初めて会う児童に温かく接して下さり、気遣いや気

もらいました。途中、思わず泣き出してしまう児童もいましたが、ホストファミリーと温かくて楽しい時間を過ごすことができた遠野での最

苦労もあったと思いますが、最後まで児童たちを家族のように見守ってくださったことに感謝申し上げます。帰京後に、各施設長や担当職員に参加した子どもたちの様子を伺うと「遠野から戻っても、遠野での楽しかったことが忘れられない様子で、また行きたいと話をしている」と聞くと嬉しく、今回の「農村ホームステイ体験の旅」の体験が、児童の将来に役立つことを願っています。

日 程：平成29年8月18日(金)～22日(火) (4泊5日)

場 所：遠野市(岩手県)

参加者：小学校高学年1人、中学生6人(男子3人、女子4人)
東京・神奈川の児童養護施設

主 催：テレビ朝日福祉文化事業団

共 催：(福)東京都社会福祉協議会児童部会

後 援：(公財)原田積善会

参加児童の感想文(抜粋)

☆中1男子

畑でとったキュウリを帰ってきてから漬物にしましたが、とてもおいしかったです。楽しかったことが3つありますが、それは、まき割り、カッパ釣り、ホストファミリーといっしょに収穫した野菜を食べたことです。

☆中1男子

農家にいくのが初めてだったので不安でした。ホストファミリーのおかげで野菜がらいを直すことができました。被災地に行って思ったことは、けがをした人がいたら助けてあげたいと思いました。

☆小5男子

とても田舎が好きになりました。初めてのつりでフナを合計10匹つりました。さよならパーティーでの思い出は、ぼくがダンスや歌をうたっているときにホストファミリーが笑ってくれたことです。農村ホームステイが今年一番の思い出になりました。

☆中3女子

初めてよその家に泊まるのは、私にとって一番の緊張と不安でした。でも、ホストファミリーはすごく優しくて親切で本当の家族みたいに接してくれて、とても嬉しかったです。今年の夏一番の思い出を作ることができました。

☆中3女子

牛や馬の世話をしましたが印象に残っていることは子牛にミルクをあげたことです。被災地訪問で吉里吉里国に行きました。お昼ごはんのピザを作ったことが初めてだったので大変良い経験になりました。みんなでまき割りもしましたが、コツをつかみどんどん割っていきました。また、遠野に行きたいです。

☆中2女子

農業体験で種まきをしたり、機械を使って畑をたがやしましたが、機械を操作するのがとてもむずかしかったです。火起こし体験もしましたが、ひとり火をおこすのはとても大変でした。このホームステイ体験をこれから将来に役立てていきたいです。そして、いつか遠野のよさを歌詞にして、歌を作りたいと思っています。

☆中1女子

一番心に残ったことは、ホストファミリーのやさしさです。私が泊まった家は大家族で、賑やかだったので、何でも分からないことは相談しました。がんばったことはトマトの収穫作業です。うれしかったことは、一緒に行った人たちとすぐに仲良くなれたことです。東京に帰って思い出話をたくさんしました。

参加ホストファミリーの感想(抜粋)

☆親戚の子が泊まりにきているような、それくらい打ち解けあえたような気がします。
☆何年か後に、成長して仕事をした時に、会いに来てくれたらいいなと思います。

☆優しい子でした。農作業も文句も言わずにこなせていて、感心しました。もっと自信を持って何にでも取り組んでほしいと思います。
☆素直にいい子に育ってほしいと願うばかりです。成長する姿をいつか、また、遠野に来て見せてほしいと思います。

●テレビ朝日見学と特別講座

児童養護施設で生活する児童のために「テレビ朝日見学と特別講座」をテレビ朝日本社で行いました。当日は、茨城県、千葉県、埼玉



県から6つの施設の21人の参加者が集まりました。館内見学の前に、テレビ朝日の仕事を15分にまとめたDVDを鑑賞して、約1時間の見学に出発しました。テレビ朝日お客様フロント部担当者の先導でウェザーセンター・ニュースCG室などを見学。普段は報道情報番組で使用されている第4スタジオでは、特別に番組セット内へ立ち入ることが許され、スタジオセットの配置が使い勝手よく工夫されていることを知ることができました。番組で使用する小道具や大道具、スタジオセットまであらゆる物を作っているコーポレートデザインセンターでは、実際にドラマやバラエティー番組で使用された小道具を手にとって重さ確かめたりしていました。ニューススタジオを上からガラス越しに見学



報道情報番組のスタジオセットも見学

することもでき、スタジオのクロマキー技術について詳しく説明を受けました。

後半の特別講座では、取材からニュース番組が制作されるまで、



本物のテレビカメラを担いで重さや撮影の難しさを実感

ニュース番組についての全体的な説明がありました。カメラマンの苦労話やスクープ映像の裏話などテレビを見ているだけではわからない話に参加者たちは皆真剣に耳を傾けていました。元アナウンサーの「話し方を学ぼう」では、発声練習、話し方、伝え方、コミュニケーションの取り方などを学びました。

最後に、ここまで学んだことの集大成として、事前に用意してきた各自の好きな物についてインタビューをする「これが私の好きな物」の番組制作を体験しました。参加者たちは5チームに分かれインタビュアー、ゲスト、カメラマン、照明の役割を決め、まずは机の前で練習をしてからチームごとに本番を体験しました。

予定時間を少しオーバーし3時間半にも及んだ館内見学と特別講座ですが、参加者は有意義な時間を過ごすことができたようです。

日 程 : 平成29年9月24日(日)

場 所 : テレビ朝日(東京都港区)

参加者 : 千葉・埼玉・茨城の児童養護施設6施設21人

主 催 : テレビ朝日福祉文化事業団

後 援 : (福)東京都社会福祉協議会児童部会

協 力 : (株)テレビ朝日

参加児童の感想(抜粋)

☆Tさん 小6

テレビ局の人は毎日放送していてすごいと思いました。インタビューでは、はずかしかったけど、やってみればおもしろかったです。スタジオも見られて、すごかったです。

☆Sさん 中2

今回の経験はとても良い勉強になりました。自分も「人のためになる」事をしたいと思い、将来は車の整備士になりたいと思っています。

☆Tさん 高1

驚いたことは、スタジオが実は小さいんだなということです。また、カメラマンをしましたが、カメラを動かすことがとても大変だということを初めて知りました。

☆Kさん 担当職員

子どもたちは番組を作るために大勢の人が協力して作られていることを実感できたと思います。また、実際のマイクやカメラを使って本物の番組のような体験をさせていただき、とても素晴らしい経験になったと思います。

江戸っ子杯争奪 ●東京都児童福祉施設競技大会2017 野球の部

7月27日(木)・28日(金)、三鷹市大沢総合グラウンドで「江戸っ子杯争奪 東京都児童福祉施設競技大会2017 野球の部」が開催されました。当初26日(水)から二日間の開催を予定していましたが、開会式を行う寸前に雨脚が強まり、残念ながら翌日延期となってしまいました。



斉藤和巳さんと記念撮影

開会式は行えませんでした

が、始球式に来ていただいた元プロ野球福岡ダイエーホークス(現ソフトバンク)の斉藤和巳さんと参加各チームの記念撮影を行う事ができました。子供たち以上に大人の監督、コーチが緊張していましたが、たいへん良い思い出になったと思います。翌27日も小雨が残る中の開催となりました。今年の参加チームは、13施設9チーム(3チームが児童部会総務部が推奨の合同チーム)で、昨年を上回る130名が参加しました。小学校低学年の子、初めて試合に出る子、力強いスイングをする女子など中学生以下の様々な選手が一体となった熱戦でした。チーム最年少の子がフライをキャッチするとベンチ総出で出迎えたり、ホームのクロスプレーに歓声が上がりたりと、1プレーごとに盛り上がる、笑顔の絶えない試合の連続



熱戦を繰り広げた児童たち



でした。翌日は天候も回復し、真夏の強い日差しの中で準決勝2試合と決勝、3位決定戦の4試合が行われました。準決勝は生長の家神の国寮vs星美ホーム、調布学園・第二調布学園vs聖ヨゼフホーム・二葉むさしが丘学園の組み合わせでした。両試合とも大接戦の激闘でしたが、決勝戦は調布学園・第二調布学園vs生長の家神の国寮の対戦となりました。立ち上がりは投手が踏ん張る緊迫した好ゲーム。神の国寮がリードする展開の中、連覇を狙う調布は3回に同点に追い付くと、続く4回に一挙4点をあげ逆転。神の国寮も5回表に2点を返し追いますが、その裏に調布は一気に6点を追加して勝負を決め、みごと連覇を達成しました。3位決定戦では星美ホームが勝利しました。

閉会式では、テレビ朝日福祉文化事業団から優勝～4位までの各チームにトロフィー、副賞としてバット、グローブセットが贈られました。最優秀選手賞とフェアプレー賞にはグローブ、そして参加者全員にスポーツタオルが贈呈されました。

目まぐるしく変わる天候の中、存分に野球を楽しんだ二日間となりました。

日 程 : 平成29年7月27日(木)～28日(金)

場 所 : 三鷹市大沢総合グラウンド(東京都三鷹市)

主 催 : (福)東京都社会福祉協議会児童部会

共 催 : テレビ朝日福祉文化事業団

後 援 : 東京都・三鷹市・三鷹市教育委員会・
(公財)毎日新聞東京社会事業団・
(公財)報知社会福祉事業団

●児童福祉施設職員のためのワークショップ

子どもの気持ちに寄り添い、関心を持って耳を傾け共感することで子どもの行動の背景にある感情を理解し、問題行動に対応する方法を学ぶ1泊2日の児童福祉施設職員のためのワークショップが開催されました。

今回も1980年代から児童虐待、ネグレクトの問題に取り組む、また日米の子どもと家族の治療に関わってこられた心理学博士の田中万里子先生(サンフランシスコ州立大学名誉教授)を講師にお迎えしました。実践的な理解を深めるため、事前に参加者から提出してもらった課題についてオープンに話し合い、現在起こっ

ている事象についての理論的な裏付けを学んだ後、その知識を現場でどのように活かしていくかについてアドバイスをいただきました。

日 程 : 平成29年10月17日(火)～18日(水)

場 所 : パレスホテル立川(東京都立川市)

主 催 : テレビ朝日福祉文化事業団

事務局 : (特非)エンジェルサポートセンター

●第59回 慈彩会展

慈彩会は自然を愛し美を愛する各界の有志で、日ごろから絵画・書・工芸などに親しむ方々が集い、“社会福祉施設に絵を贈る運動”として昭和33年（1958年）に発足しました。出品作品はすべて作者から無償で提供され、社会福祉施設に寄贈されています。また希望者への販売も行われ、収益金は助成金として社会福祉活動に役立てられます。



会場は日本橋三越



常陸宮妃殿下の特別御出品も

この展覧会には、毎回、常陸宮妃殿下からのご出品いただいております。また趣旨に賛同した専門家も多く参加しています。今回も常陸宮妃殿下の「新年歌会始の詠進お歌」（書）の特別御出品をはじめ、総計157点もの作品が出展されました。

会場には、洋画・水彩画・日本画・書・工芸・写真と多岐にわたる素晴らしい作品が所狭しと飾られまし

た。これまでに全国の福祉施設に贈呈された作品は、累計5400点で、延べ3730施設となりました。



絵画が並ぶ展示会場

日 程	： 平成29年7月6日（木）～11日（火）
場 所	： 日本橋三越本店（東京都中央区）
主 催	： 慈彩会
運営事務局	： （一社）日本民生文化協会
後 援	： 厚生労働省・東京都・テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第62回 全国里親大会 京都大会

日 程：平成29年9月30日（土）～10月1日（日）
場 所：京都テルサ（京都府京都市）
共 催：厚生労働省・京都府・（公財）全国里親会・京都府里親会・テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第63回 関東甲信越静里親研究協議会 さいたま市大会

日 程：平成29年7月1日（土）
場 所：大宮ソニックシティ（埼玉県さいたま市）
主 催：関東甲信越静里親研究協議会・埼玉県里親会連合会・（公財）全国里親会
後 援：テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

こどもの国お正月行事 ●「ジャンボカルタとり大会」と「どんど焼き」

こどもの国の新年の恒例行事、「ジャンボカルタとり大会」と「どんど焼き」が今年も大勢の人々を集め開催されました。両行事ともにお天気に恵まれ、青空のもと中央広場で行われました。

伝統的な正月行事の一つ「どんど焼き」では、参加者が持ち寄った松飾り・書初め・願い事が書かれた短冊を付けた笹の木などを櫓にくべて、厄払いや無病息災、諸願成就を願いました。毎年、テレビ朝日福祉文化事業団は、どんど焼きに参加する子どもたち（先着300名）に焼き芋をプレゼントしています。また、残り火を使用した焼きマシュマロ体験も実施し大好評を得ています。



大きなボードのカルタとり

こどもの国が開園以来、約50年続いているふたつのイベントは、新年の風物詩となっています。



新春の空に燃え上がるどんど焼き

ジャンボカルタとり大会
日 程： 平成30年1月2日（火）、3日（水）
どんど焼き
日 程： 平成30年1月13日（土）
場 所： こどもの国（神奈川県横浜市）
主 催： （福）こどもの国協会
後 援： テレビ朝日福祉文化事業団

●「憩いの家」資金バザー

日 程：平成29年12月19日（火）～24日（日）
場 所：日本橋高島屋（東京都中央区）
主 催：（福）青少年と共に歩む会
後 援：テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●日本児童養護実践学会 創立10周年記念研究大会

日 程：平成30年2月24日（土）
場 所：白百合女子大学（東京都調布市）
主 催：（一社）日本児童養護実践学会
後 援：厚生労働省・テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

母子福祉

● 母ののための テレビ朝日見学体験ツアー2017



どこでもドアに大喜び

母子福祉事業「母ののためのテレビ朝日見学体験ツアー」は住所を公表しない母子生活支援施設で暮らすお

母さんと子どもをテレビ朝日に招待し、外出して気分転換を図ってもらうこと、他の施設の親子と交流しテレビ局を身近に感じてもらうことを目的にしています。今年で4年目を迎えますが大変好評で、毎年応募者が増えています。そこで今回は一回の招待数を2倍にし、5月21日(日)から毎週日曜日全4回連続で開催。110人をテレビ朝日に招待しました。

初日用意した託児所は6人が利用。館内見学には5月21日12組28人、5月28日8組22人、6月4日は11組27人、6月11日は9組27人、合わせて40組104人が館内見学を楽しみました。参加者は、託児を含み子ども55人、大人55人の110人と過去最多になり、招待者数は4年間で287人(託児9人含む)になりました。

見学コースは、「ANNニュース」放送中のスタジオ見学(ガラス越し)→社内食堂での昼食(食べ放題)→屋上散策(テレビ朝日稲荷、東京タワーを一望)→コーポレートデザインセンターでセットの模型や小道具見学→ニュースCG室・ウェザーセンター→アトリウム自由観覧(番組宣伝コーナー、テレアサショップ)→「サンデーステーション」の放送前のスタジオ見学とアナウンサーとの記念撮影、と盛りだくさん。

お昼の「ANNニュース」生放送が始まると緊張感が伝わり、全員ガラス越しに息をのんで見学しました。

社内食堂での食べ放題も大人気。食事つきの外出は家事の手を休め、親子一緒に楽しめる貴重な時間です。

美術エリアでは、ドラマのセットや小道具、CG室、ウェザーセンターの見学の後は約20分の自由時間。アトリウムで思いの時間を楽しみ、最後に今回のハイライト、2017年春スタートの「サンデーステーション」放



東京タワーを一望できる屋上を散策

送前の第4スタジオを訪れました。

板倉朋希アナウンサー、森川夕貴アナウンサーに挟まれて新番組のセットで記念撮影は大好評で、ポーズをとる子どもたちとお母さんのどのショットからも笑みがこぼれていました。中には森川アナウンサーに甘えて抱っこしてもらおう子もいました。

見学が終わり、「たのしかった〜!!」と幼児に愛らしい大きな声でハイタッチされ、私たちスタッフもパワーをもらいました。また、「趣味がなく楽しみを捜していました。メンタル的に調子がよくなかったのですが、娘を託児所に預け、自分だけ休日を満喫することができ、元気をもらいました」というお母さんの言葉に、この事業の意義と喜びを感じました。

これからも母子生活支援施設に暮らす親子に喜んでもらえるよう、この事業を継続して参りたいと思います。参加者募集などにご尽力いただいた関東ブロック母子生活支援施設協議会、番組関係者をはじめテレビ朝日各署のご協力に心からお礼を申し上げます。



森川アナウンサーに抱っこしてもらおう子



「サンデーステーション」のセットでアナウンサーと記念撮影



テレビ朝日本社の食堂も訪れました

日程：平成29年5月21日(日)、28日(日)、6月4日(日)、11日(日)

場所：テレビ朝日(東京都港区)

参加者：母子40組110人
未就学児童21人、小学生26人、中学生6人、高校生2人ほか
東京・神奈川・千葉・埼玉 のべ23施設 ※託児所利用6人

主催：テレビ朝日福祉文化事業団

後援：関東ブロック母子生活支援施設協議会

参加者からの感想文(抜粋)

☆横浜市Nさん、小2男子

「サンデーステーション」の記念撮影は本当に感動しました。写真を大切な宝物にします！子どもが女性アナウンサーに質問した際も、丁寧に答えてくださり、子どもとても嬉しそうでした。握手もしてくれてありがとうございました。

☆横浜市小5男子

ニュースがびっくりにおわったのがすごいなと思いました。

☆墨田区Mさん、小6男子、5才男子

一番嬉しかったのは子どもたちのいるんな表情が見られたことです。本物そっくりのレンガに驚き、ソフトクリームをおいしそうに食べ、お土産のお菓子里大喜びし…とても貴重な体験をさせていただきました。普段外食することはほとんどないし、家でのメニューも子ども中心なので、自分の好きなものをお金を気にせず、思う存分食べられたので幸せでした。

☆江東区母子生活支援施設職員

一生できないような経験をさせていただきました。皆様さまざまな環境の中で苦痛を味わい、大変な思いをされてきたばかり…1人親という負担以外のいろいろな事情を抱えながら過ごしていらっしゃるのを真近で見えています。今回の経験は日常を抜け出し別の世界を見るだけでなく、多くの励ましを実感する機会になったと思っています。

☆墨田区Tさん、5才女子

テラスの昼食の時間が一番ゆっくりくつろげました。天気もよかったので子どもたちもツアーに参加していた子たちとテラスで遊べたのがよかったです。ランチのスパゲティもデザートもおいしかった。

☆渋谷区Sさん、5才女子

娘が「NEWSを読む人になりたい」と最近口にするようになってきたので、タイムリーに現場を見せていただき、素敵な方々に出会えたことで良い刺激となりました。娘が目標高く、希望を持って前に進んでいけるきっかけになりました。

参加者からの感謝のお手紙の一部



●第40回記念 車いすバスケットボール秋季大会



迫力ある熱戦が繰り広げられました

平成30年(2018年)1月14日(日)、第40回記念大会となる「車いすバスケットボール秋季大会」を開催しました。例年は秋に行われているこの大会ですが、総選挙の影響で今回は1月14日(日)に開催日が変更となり、千葉ポートアリーナに全国から9チームが集まり熱戦が繰り広げられました。

東京2020パラリンピックが近づいてきて、車いすバスケットボールへの注目も高まりつつありますが、この大会は40年の歴史の中で全国の選手層を広げることに貢献してきました。現在の日本代表チームは強化合宿や海外遠征などを重ね、世界のトップチームに近づこうと日々練習に励んでいます。中でも2大会連続でパラリンピック出場権を逃した女子チームの強化が急務とされています。男女ともにホスト国としてレ

ベルアップした戦いが期待されます。

さて、今回の結果はAグループでは「岐阜SHINE」、Bグループは「YOKOHAMA DREAMER」、Cグループは「Wing」が優勝しました。真冬の開催で例年よりも寒い体育館での戦いとなりましたが、日本車いすバスケットボール連盟の方々、千葉市の関係者の方々、ボランティアの方々などの熱意と善意で無事に大会が終了しました。

平成29年(2017年)8月4日に創立40周年を迎えたテレビ朝日福祉文化事業団は、この大会を第1回目から共同主催という形で参加してきました。念願の東京で開催されるパラリンピックでの選手たちの躍動が楽しみです。



Aグループ優勝「岐阜SHINE」



Bグループ優勝「YOKOHAMA DREAMER」



Cグループ優勝「Wing」

日 程	平成30年1月14日(日)
場 所	千葉ポートアリーナ(千葉県千葉市)
主 催	(一社)日本車いすバスケットボール連盟
共 催	テレビ朝日福祉文化事業団
後 援	千葉市・千葉市教育委員会
協 力	(株)モルテン・淑徳大学

●第41回 ハンディスキー 全国親善大会(秋田たざわ湖大会)



ハンディをものともせず果敢に滑る選手たち



チェアスキーで疾走する選手

第41回ハンディスキー全国親善大会(秋田たざわ湖大会)が、たざわ湖スキー場で開催されました。昨年8月に、テレビ朝日福祉文化事業団は創立40周年を迎えましたが、この大会を第1回から共催しています。この大会はタイムなどの成績を競い合うだけでなく、障がいのあるなし、性別、年齢を問わず全国の仲間が共にスキーを楽しみながら絆を深め、生活面の向上の一助となることを目的としています。

1月26日(金)17時に宿泊先でもある田沢湖スポーツセンター体育館で開会式を行いました。選手たちは、翌日1月27日(土)9時30分からのインスペクションを終え、10時30分にクラスごとに分かれて順番に競技をスタートしました。今回は、初級の参加者がいなかったことから中級・上級・ゲストメーション(健常参加者)に分かれて、日本全国から集まった37名の選手が熱戦を繰り広げました。勝敗はタイムの速い遅いではなく、



アウトリガーを使用して滑り降りる

同じコースを2回滑り、2回のタイム差が一番少ない選手が優勝となるチャレンジタイムレースで行われました。いかにして自分のリズムを守って2本滑りきることが出来るかが勝敗のカギとなります。

たざわ湖スキー場は、国体やワールドカップモーグル競技などが開催される全国有数のスキー場です。スタート付近の気温は-12℃。ゲレンデコンディションは新雪で視界も良好。最高のスキーコンディションとなりました。全長約700mのコースに28本の旗門がセットされ、選手たちは次々にスタートしていきました。立位・チェアスキーなど、それぞれの状況に応じて用具や滑り方を工夫して思いきり風を切って旗門を通過し、滑走。競技スキーとほぼ同等のコースをハンディをものともせず果敢に滑り、観戦者たちに勇気と感動を与えてくれました。

大会終了後は表彰式と交流会が行われ、親善大会の名にふさわしくお互いの健闘を称えつつ、久しぶりの再会に会場は大いに盛り上がり、笑顔が溢れていました。参加してくれた選手の皆さんはじめ、長い間準備にあたられた日本身体障害者スキー協会及び大会開催に尽力くださった全ての関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

試合結果		
上級優勝	菅 貢(秋田県)	タイム差 0秒20
中級優勝	三原 章(宮城県)	タイム差 0秒77
ゲストメーション	佐々木麻子(秋田県)	タイム差 0秒12

日 程	平成30年1月26日(金)～27日(土)
場 所	たざわ湖スキー場(秋田県仙北市)
主 催	日本身体障害者スキー協会
共 催	テレビ朝日福祉文化事業団

後援・協力：秋田県教育委員会・仙北市・仙北市教育委員会
秋田県スキー連盟・(福)秋田県身体障害者福祉協会・(一社)秋田県障害者スポーツ協会 ほか

●Warm Blue 2017

日 程：平成29年4月1日(土)～5日(水)
場 所：伊藤忠青山アートスクエア(東京都港区)
主 催：(一社)Get in touch



内閣総理大臣杯争奪

●第45回 日本車いすバスケットボール選手権大会

日 程：平成29年5月3日(水・祝)～5日(金・祝)
場 所：東京体育館(東京都渋谷区)
主 催：(一社)日本車いすバスケットボール連盟・(公財)日本障がい者スポーツ協会・
(公財)日本バスケットボール協会
後 援：スポーツ庁・東京都・渋谷区・テレビ朝日福祉文化事業団 ほか



●第33回 DPI(障害者インターナショナル)日本会議全国集会 in 京都

日 程：平成29年6月3日(土)～4日(日)
場 所：ホテルピノ京都堀川(京都府京都市)
主 催：(特非)DPI日本会議
後 援：内閣府・外務省・厚生労働省・国土交通省・文部科学省・テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●2017 電動車椅子サッカー交流大会 in ちば

日 程：平成29年6月25日(日)
場 所：八千代市市民体育館(千葉県八千代市)
主 催：千葉県電動車椅子サッカー協会・八千代市サッカー協会
後 援：千葉県・八千代市・テレビ朝日福祉文化事業団



●むさしの会サマーキャンプ

日 程：平成29年7月29日(土)～30日(日)
場 所：マホロバ・マイنز三浦(神奈川県三浦市)
主 催：むさしの会

●日本車いすバスケットボール連盟 第14回 ジュニア選手育成講習会

日 程：平成29年8月11日(祝・金)～14日(月)
場 所：障がい者スポーツセンターアミティ舞洲(大阪府大阪市)
主 催：(一社)日本車いすバスケットボール連盟
後 援：テレビ朝日福祉文化事業団

●チャレンジキャンプ

日 程：平成29年8月19日(土)～22日(火)
場 所：南相木村平休場キャンプサイト(長野県南佐久郡)
主 催：児童養護施設カルテット
後 援：テレビ朝日福祉文化事業団

●第40回 わらじの会 夏合宿

日 程：平成29年8月25日(金)～27日(日)
場 所：桐生グランドホテル(群馬県桐生市)
主 催：わらじの会

●第34回 全国高校生の手話によるスピーチコンテスト

日 程：平成29年8月26日(土)
場 所：有楽町朝日ホール(東京都千代田区)
主 催：(一財)全日本ろうあ連盟・(福)朝日新聞厚生文化事業団・(株)朝日新聞社
後 援：厚生労働省・文部科学省・テレビ朝日福祉文化事業団 ほか



●第42回 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会

日 程：平成29年9月29日(金)～10月1日(日)
場 所：サーティーフォー相模原球場ほか(神奈川県相模原市)
主 催：全日本ろう社会人軟式野球連盟
後 援：文部科学省・厚生労働省・神奈川県・テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●バディウォーク東京2017

日 程：平成29年11月19日(日)
場 所：新宿中央公園(東京都新宿区)
主 催：(特非)アクセプションズ
後 援：東京都・新宿区・(公財)日本ダウン症協会・テレビ朝日福祉文化事業団 ほか



●第32回 全日本視覚障害者柔道大会

日 程：平成29年11月26日(日)
場 所：講道館(東京都文京区)
主 催：(特非)日本視覚障害者柔道連盟
後 援：スポーツ庁・厚生労働省・東京都・全国盲学校長会・テレビ朝日福祉文化事業団 ほか



厚生労働大臣杯争奪

●第47回 全国身体障害者スキー大会

日 程：平成30年3月9日(金)～10日(土)
場 所：苗場スキー場(新潟県南魚沼郡)
主 催：(公財)日本障がい者スポーツ協会・日本身体障害者スキー協会
後 援：厚生労働省・文部科学省・(公財)全日本スキー連盟・テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第9回 はーとふるメッセ実りの集い ～はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー2017～

日 程：平成30年3月21日(祝・水)
場 所：イオンモール津田沼(千葉県習志野市)
主 催：千葉県・(特非)千葉県障害者就労事業振興センター
後 援：千葉ロッテマリーンズ・テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第33回 関東大会(身体障がい者スキー)

日 程：平成30年3月23日(金)～25日(日)
場 所：丸沼高原スキー場(群馬県利根郡)
主 催：日本身体障害者スキー協会 ほか
後 援：テレビ朝日福祉文化事業団

● 高齢者施設訪問

特別養護老人ホームやデイサービスセンターなどの高齢者施設をプロの歌手が訪問し、高齢者の皆さんに楽しい時間を過ごしていただくというのがこの高齢者施設訪問です。

昭和62年(1987年)に施設訪問が始まってから、通算で220回を数えました。今年度は東京、神奈川、茨城で12回実施。毎回、参加者は民謡から歌謡曲まで若かりし頃を懐かしみながら、笑顔あり、涙ありの楽しい時を過ごしました。そして、自らの施設を訪れてくれた歌手の方々に元気もらっていました。



どこの会場も超満員



こまどり姉妹

10月には当事業団40周年記念事業「LIVE TOGETHER!」の中で高齢者施設訪問30周年特別編としてスペシャル歌謡ショーを開催。レギュラー6組が初めて勢ぞろいする華やかな舞台を披露しました。(40周年記念事業のページをご覧ください。)

また、11月には「みずはまち もう一つの敬老会」として、「高齢者施設訪問30周年記念 園まりさん&佳山明生さん歌謡ショー」を東京都西多摩郡瑞穂町で開催し、500人を超すお客様を集めました。(地域公益活動のページをご覧ください。)



民謡ショーは三味線、尺八、鳴り物、お囃子の生演奏に合わせて



佳山明生



大島花子



大津美子



園まり



原田直之

① 日程 : 平成29年4月21日(金)
場所 : 葛城デイサービス(茨城県つくば市)
ゲスト : こまどり姉妹(歌手)

② 日程 : 平成29年5月26日(金)
場所 : オーネスト成増(東京都板橋区)
ゲスト : 大津美子(歌手)

③ 日程 : 平成29年6月7日(水)
場所 : こまえ苑(東京都狛江市)
ゲスト : 佳山明生(歌手)

④ 日程 : 平成29年6月23日(金)
場所 : フレスコ浅草(東京都台東区)
ゲスト : 園まり(歌手)

⑤ 日程 : 平成29年7月5日(水)
場所 : やよいほうむ(東京都中野区)
ゲスト : 原田直之(民謡歌手)

⑥ 日程 : 平成29年9月11日(月)
場所 : ゴールデン鶴亀ホーム(東京都大田区)
ゲスト : 大島花子(歌手)

⑦ 日程 : 平成29年9月12日(火)
場所 : 浅草ほうらい(東京都台東区)
ゲスト : 大津美子(歌手)

⑧ 日程 : 平成29年10月25日(水)
場所 : 瑞穂スカイホール(東京都西多摩郡瑞穂町)
ゲスト : 園まり(歌手)・佳山明生(歌手)

⑨ 日程 : 平成29年11月8日(水)
場所 : 板橋の里 英智園(東京都板橋区)
ゲスト : こまどり姉妹(歌手)

⑩ 日程 : 平成30年1月12日(金)
場所 : かまくら愛の郷(神奈川県鎌倉市)
ゲスト : 原田直之(民謡歌手)

⑪ 日程 : 平成30年2月5日(月)
場所 : 愛生苑(東京都多摩市)
ゲスト : 佳山明生(歌手)

⑫ 日程 : 平成30年3月12日(月)
場所 : 南聖園(東京都あきる野市)
ゲスト : 大島花子(歌手)

● 第9回 国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブ in 横浜」



97団体、3700人が参加

今年も桜満開の横浜で4月10日～12日の3日間の開催となりました。悠々とした風格を感じさせる「ゴールデンエイジ」の仲間たちの合唱祭は横浜開港150周年記念事業の一環として、平成20年(2008年)の春に始まり今回で9回目。海外からの参加も含め、97団体、約3700名の方々が歌声を披露しました。

今回は100名を超える合唱団が4団体あったり、ピアノ以外の楽器での演奏があったり、踊りながら衣装を変えていくパフォーマンスなどバラエティー豊かに観客を楽しませていました。

日程 : 平成29年4月10日(月)～12日(水)
場所 : 横浜みなとみらいホール(神奈川県横浜市)
主催 : 横浜みなとみらいホール
(特非) ゴールデンウェーブ
後援 : 神奈川県・横浜市 ほか
特別後援 : (福) 朝日新聞厚生文化事業団
テレビ朝日福祉文化事業団

地域公益活動

●高齢者施設訪問30周年記念 「第4回 みずほまち もう一つの敬老会」



歌謡ショーの前には敬老会の式典

高齢者施設訪問30周年記念として、「第4回 みずほまち もう一つの敬老会」を10月25日に東京都西多摩郡瑞穂町で開催しました。普段は高齢者施設訪問でお世話になっている園まりさん、佳山明生さんにご協力をいただき、瑞穂スカイホールに約530名が集まり、歌謡ショーを楽しまれました。

通所介護事業所連絡会会長、瑞穂町長等の式典での挨拶に続いて、歌謡ショーは園まりさんの昭和39年のヒット曲「何も云わないで」からスタート、全9曲を熱唱しました。昔懐かしい唱歌「ふるさと」と「青い山脈」を参加者と一緒に合唱した際には、会場全体がひとつになりました。往年のヒット曲「夢は夜ひらく」、「逢いたくて逢いたくて」、最後に人生の応援歌「愛燦爛」を歌い、施設を代表したお年寄りから、大きな花束が園さんに贈られました。

その後、10分間の休憩時間を利用して、お年寄りがリラックスできるようにと理学療法士ふたりによる体操を行いました。続いて、佳山さんがグレーのシックな衣装で登場すると、拍手喝采で歌謡ショーが再びスタート。大ヒット曲「氷雨」から、歌謡曲や演歌など全6曲を熱唱しました。佳山さんは、古賀政男氏の最後の門下生。その古賀氏が「男のロマンを歌った曲」と指



園まりさん



ステージから降りて握手をするサービス精神旺盛な佳山明生さん

摘した「無法松の一生」を歌いながら、ステージ上から客席に降りてお年寄り一人一人と固く握手をして励ますと、会場は大いに盛り上がりました。喜納昌吉氏の代表曲「花」では、歌詞に合わせて客席に合いの手を促し、それに応えて会場から大きな掛け声かけられ、歌い終わってもアンコールを求める拍手が鳴りやまず、代表曲の「こころの翼」を人生に感謝の気持ちを込めて歌い上げました。最後に、施設の代表から大きな花束が贈られ、記念撮影を行い終演となりました。

参加した関係者からは、「会場が笑顔と笑い声で一杯となり、最高の敬老のおもてなしになった」との感謝の言葉を頂きました。



佳山明生さん



華やかな園まりさんのステージ

日程：平成29年10月25日(水)

場所：瑞穂スカイホール(東京都西多摩郡瑞穂町)

主催：瑞穂町通所介護事業所連絡会
テレビ朝日福祉文化事業団

●中井貴恵 朗読公演 音語り&読み聞かせの会

2年前に始まった「地域における公益的な取組」として、今年度は女優中井貴恵さんの朗読公演「音語り 東京物語～小津安二郎映画を聞く～」を2回、「読み聞かせの会」を1回開催しました。



中井貴恵さんとピアノ演奏の松本峰明さん

「音語り」の1回目は、4月12日(水)に世田谷区民会館ホールにおいて「第34回せたがや日赤のつどい」第3部の催しとして上演されました。幼い頃、小津監督に孫のようにかわいがってもらった中井貴恵さんが、映画の登場人物はもとより、ナレーション・ト書きまでを一人で演じ分けます。ジャズピアニスト松本峰明さんの奏でる音色が、中井さんの語りに情景を加えました。客席には静かに目頭を押さえ余韻に浸る姿があちらこちらに見られました。

音語り 東京物語 ～小津安二郎映画を聞く～

世田谷区

日程：平成29年4月12日(水)

場所：世田谷区民会館(東京都世田谷区)

主催：世田谷区赤十字奉仕団
日本赤十字社東京都支部世田谷区地区

協力：テレビ朝日福祉文化事業団

港区

日程：平成29年10月24日(火)

場所：港区高輪区民センター
区民ホール(東京都港区)

主催：(福)港区社会福祉協議会

共催：テレビ朝日福祉文化事業団



中井貴恵さん(小津安二郎監督の写真の前で)

「音語り」の2回目は、10月22日(日)から開催された「第2回港区地域福祉フォーラム」の24日(火)の催しとして行われました。公演後「故郷を思い出させるとともに、親が子を思う気持ちは、どの時代にあっても変わらないものだということを実感しました。」という感想が届いています。

母子生活支援施設で暮らす子どもたちとお母さんに外に出て楽しく過ごしてもらうことを目的に、共催・助成事業として上演しているのが「読み聞かせの会」。今回は「絵本の世界へようこそ」というイベント名で、1月20日(土)に千葉市の美浜文化ホールに200名を超す来場者を集めて行われました。演目はアンデルセンの「はだかの王さま」とキム・フォックス・オーカソンの「おじいちゃんがおばけになったわけ」。ここでも中井さんが登場人物を演じ分け朗読し、場面に合わせて作られた音楽がピアノで演奏され、観客は物語の世界に入り感情移入されていました。



「はだかの王さま」を朗読する中井貴恵さん

子どもから大人まで楽しめる
読み聞かせの会

今後も自治体や社会福祉協議会などと連携し、「地域における公益的な取組」を実施していきます。

読み聞かせの会 絵本の世界へようこそ

日程：平成30年1月20日(土)

場所：美浜文化ホール(千葉県千葉市)

主催：(福)千葉県社会福祉協議会・千葉県児童福祉施設協議会・母子生活支援施設部会

共催：テレビ朝日福祉文化事業団

<平成29年度事業一覧>

	事業名	名義
40周年記念事業	創立40周年記念「LIVE TOGETHER！普通にやろう！一緒にやろう！」	主催・助成
	創立40周年記念品「かんたんテント」プレゼント	助成
	創立40周年記念「第6回 子どもキラット！楽演祭」	主催・助成
児童福祉	第17回 児童養護施設で生活する高校生の海外生活体験の旅	主催・助成
	第5回 農村ホームステイ体験の旅 in 遠野	主催・助成
	テレビ朝日見学と特別講座	主催・助成
	江戸っ子杯争奪 東京都児童福祉施設競技大会2017 野球の部	共催・助成
	児童福祉施設職員のためのワークショップ	主催名義・助成
	第59回 慈彩会展	後援・助成
	第62回 全国里親大会 京都大会	共催・助成
	第63回 関東甲信越静里親研究協議会 さいたま市大会	後援・助成
	こどもの国「ジャンボカルタとり大会」と「どんど焼き」	後援・助成
	日本児童養護実践学会 創立10周年記念研究大会	後援名義
	「憩いの家」資金バザー	後援名義
母子福祉	母子のためのテレビ朝日見学体験ツアー2017	主催・助成
障がい者福祉	第40回記念 車いすバスケットボール秋季大会	共催・助成
	内閣総理大臣杯争奪 第45回記念 日本車いすバスケットボール選手権大会	後援・助成
	日本車いすバスケットボール連盟 第14回 ジュニア選手育成講習会	後援・助成
	第41回 ハンディスキー全国親善大会	共催・助成
	厚生労働大臣杯争奪 第47回 全国身体障害者スキー大会	後援・助成
	第33回 関東大会（身体障がい者スキー）	後援・助成
	第32回 全日本視覚障害者柔道大会	後援・助成
	Warm Blue 2017	助成
	2017電動車椅子サッカー交流大会 in ちば	後援・助成
	第42回 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会	後援・助成
	第33回 DPI日本会議全国集会 in 京都	後援・助成
	第9回 はーとふるメッセ実りの集い 〜はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー2017〜	後援・助成
	第34回 全国高校生の手話によるスピーチコンテスト	後援・助成
	パディウォーク東京2017	後援・助成
	むさしの会サマーキャンプ	助成
	チャレンジキャンプ	後援・助成
	第40回 わらじの会 夏合宿	助成
	第55回 弘済学園 わたしたちが創る展	後援名義
	第65回 全国盲人福祉施設大会	後援名義
	第66回 東京都社会福祉大会	協賛名義
高齢者福祉	高齢者施設訪問	主催・助成
	第9回 国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブ in 横浜」	特別後援・助成
地域公益活動	音語り 東京物語 〜小津安二郎映画を聞く〜	協力・助成
	読み聞かせの会 絵本の世界へようこそ	共催・助成
その他	プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント	助成
	第2回 港区地域社会福祉フォーラム	出展

<平成29年度会計報告>

●事業活動計算書

自:平成29年4月1日 至:平成30年3月31日

(単位:円)

勘定科目			当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
サービス活動増減の部	収益	寄附金収益	28,123,776	38,621,279	-10,497,503
		事業収益	0	0	0
		その他の収益	0	0	0
		サービス活動収益計(1)	28,123,776	38,621,279	-10,497,503
	費用	人件費	1,670,944	1,606,639	64,305
		事業費	55,517,593	47,178,191	8,339,402
		①児童福祉費	16,326,146	15,263,581	1,062,565
		②高齢者福祉費	5,371,564	6,999,224	-1,627,660
		③障がい者福祉費	5,266,522	17,946,757	-12,680,235
		④母子福祉費	862,140	622,476	239,664
		⑤その他事業費	2,432,329	6,346,153	-3,913,824
		⑥40周年記念事業費	25,258,892	0	25,258,892
		事務費	1,738,266	1,424,817	313,449
		基金組入額	0	0	0
減価償却費	0	0	0		
サービス活動費用計(2)	58,926,803	50,209,647	8,717,156		
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)		-30,803,027	-11,588,368	-19,214,659	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	1,939,892	2,887,386	-947,494
		有価証券売却益	0	0	0
		投資有価証券売却益	0	0	0
		その他のサービス活動外収益	0	0	0
		サービス活動外収益計(4)	1,939,892	2,887,386	-947,494
	費用	有価証券売却損	0	0	0
		投資有価証券売却損	0	0	0
		その他のサービス活動外費用	0	0	0
		サービス活動外費用計(5)	0	0	0
	サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)		1,939,892	2,887,386	-947,494
経常増減差額(7) = (3) + (6)		-28,863,135	-8,700,982	-20,162,153	
特別増減の部	収益	固定資産受贈額	0	0	0
		固定資産売却益	0	0	0
		その他の特別収益	0	0	0
		特別収益計(8)	0	0	0
	費用	基本金組入額	0	0	0
		固定資産売却損・処分損	0	0	0
		その他の特別損失	0	0	0
		特別費用計(9)	0	0	0
	特別増減差額(10) = (8) - (9)		0	0	0
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)		-28,863,135	-8,700,982	-20,162,153	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	38,160,840	46,861,822	-8,700,982	
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	9,297,705	38,160,840	-28,863,135	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	
	基金取崩額(15)	10,000,000	0	10,000,000	
	その他の積立金取崩額(16)	0	0	0	
	その他の積立金積立額(17)	0	0	0	
	次期繰越活動増減差額(18) = (13) + (14) + (15) + (16) - (17)	19,297,705	38,160,840	-18,863,135	

<その他>

●平成29年度 ご寄付者の報告

企業・団体・個人の皆さまからご寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。

寄付金合計 **28,123,776**円

★ 一般寄付 （敬称略）

個人 …………… 1人

企業・団体 ……… 42社・団体

アラコム(株)、ALSOK東京(株)、(株)伊佐梅、(株)大塚商会、(株)関電工、九州巨人軍愛好会
(株)コマデン、(株)シーピーエス、城南質屋協同組合、新日本プロレスリング(株)
ダイダゲン(株)、(株)台東サービス、(株)竹中工務店、(株)テルミック
テレビ朝日美術OBバラックの会、東京原宿ライオンズクラブ、(株)東京美術
東京六本木ライオンズクラブ、(株)日本歯科衛生協会、（公財）原田積善会
富士ゼロックス(株)、富士通(株)、(株)ミヤギ、横浜エレベータ(株)東京支店
(株)テレビ朝日、(株)ビーエス朝日、(株)シーエス・ワンテン、テレビ朝日映像(株)
(株)テレビ朝日サービス、(株)テレビ朝日ミュージック、(株)東京サウンド・プロダクション
(株)文化工房、(株)フレックス、シンエイ動画(株)、(株)放送技術社、(株)テイクシステムズ
(株)トラストネットワーク、(株)テレビ朝日クリエイト、(株)テレビ朝日アスク
(株)テレビ朝日ベスト ほか

★ 物資などのご協力 1社

(株)テレビ朝日

●貸借対照表 平成30年3月31日現在

（単位:円）

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	31,104,210	49,120,908	-18,016,698	流動負債	463,145	236,628	226,517
現金預金	30,847,289	48,845,961	-17,998,672	事業未払金	336,631	163,368	173,263
仮払金	256,921	274,947	-18,026	預り金	4,084	0	4,084
				職員預り金	122,430	73,260	49,170
固定資産	960,000,000	970,000,000	-10,000,000	固定負債	11,343,360	10,723,440	619,920
基本財産	100,000,000	100,000,000	0	退職給付引当金	11,343,360	10,723,440	619,920
その他の固定資産	860,000,000	870,000,000	-10,000,000	負債の部合計	11,806,505	10,960,068	846,437
				純 資 産 の 部			
				基本金	100,000,000	100,000,000	0
				基本財産基金	100,000,000	100,000,000	0
				基金	860,000,000	870,000,000	-10,000,000
				その他財産基金	860,000,000	870,000,000	-10,000,000
				国庫補助金等特別積立金	0	0	0
				その他の積立金	0	0	0
				次期繰越活動増減差額	19,297,705	38,160,840	-18,863,135
				次期繰越活動増減差額	19,297,705	38,160,840	-18,863,135
				（うち当期活動増減差額）	-28,863,135	-8,700,982	-20,162,153
				純資産の部合計	979,297,705	1,008,160,840	-28,863,135
資産の部合計	991,104,210	1,019,120,908	-28,016,698	負債及び純資産の部合計	991,104,210	1,019,120,908	-28,016,698

*平成29年度決算報告書より抜粋

詳細は、当事業団のホームページをご覧ください。

●テレビ朝日福祉文化事業団 役員・評議員

(平成30年3月31日現在)

役職名	氏名	職業
理事長	吉田 慎一	株式会社テレビ朝日ホールディングス 代表取締役社長
副理事長	香山 敬三	株式会社テレビ朝日 取締役経理局長
理事	高橋 利一	社会福祉法人至誠学舎立川至誠学園 相談役、名誉学園長 法政大学名誉教授
理事	石野 清治	社会福祉法人同愛記念病院財団 顧問
理事	山崎 哲男	弁護士 日比谷見附法律事務所 東京六本木ライオンズクラブ
理事	三浦 公嗣	医学博士 慶応大学医学部臨床研究推進センター教授
評議員	宮沢 成実	元社会福祉法人東京都社会福祉協議会
評議員	岩崎 浩三	特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会 理事
評議員	根本 保	元株式会社ピーエス朝日 常勤監査役
評議員	岸田 晟	一般社団法人日本民生文化協会 会長
評議員	東 ちづる	女優 一般社団法人 Get in touch 理事長
評議員	椎橋 敏	公益財団法人原田積善会 顧問
評議員	池上 和子	赤坂アイ心理臨床センター代表 学術博士 東北福祉大学特任准教授
評議員	是永 一好	社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団 事務局長
監事	平田 和子	税理士 平田和子税理士事務所
監事	若穂井 透	弁護士 元日本社会事業大学教授

【ご寄付のお願い】

テレビ朝日福祉文化事業団の活動は、皆さまからのご寄付によって支えられています。
当事業団へのご寄付は、特定寄付金となります。個人の場合は所得税の寄付金控除として、
法人の場合は法人税の損金算入の対象となります。
ご寄付は、当事業団が実施する児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、母子福祉ほか
さまざまな社会福祉事業へ充てさせていただきます。
なお、ご寄付の方法は下記のとおりです。

記

- 郵便振替
口座番号 00110-6-761778
口座名(加入者名)「こころの樹」
※通信欄に「寄付金」とご記入ください。
- 現金書留で郵送
〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1 森タワー16階
テレビ朝日福祉文化事業団 行
*連絡先を同封してください。領収書をお送りいたします。
- 銀行振込希望の方は、事務局へご連絡ください。
電話 03-6406-2195 FAX 03-3405-3797



テレビ朝日福祉文化事業団 事業報告
平成29年度(2017年度)
年報 こころの樹
発行人 杉村全陽

平成30年(2018年)6月30日発行
社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団
〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1 森タワー16階
TEL 03-6406-2195 FAX 03-3405-3797
<http://www.tv-asahi.co.jp/fukushi/>
E-mail : fukushi@tv-asahi.co.jp

※文中の役職等は、その時点での表記といたしました。
※無断転載は禁じます。
©2018 tv-asahi welfare foundation